

2011年6月24日

## 横浜ゴム、「グリーンウェイブ 2011」で国内外に 13,000 本を植樹

横浜ゴム（株）（社長：南雲忠信）は、世界的な植樹キャンペーン「グリーンウェイブ 2011」の期間中に、国内外の 23 拠点で参加した。「グリーンウェイブ」は、国際連合が定めた「国際生物多様性の日」（毎年 5 月 22 日）に世界各地で一斉に植樹などを行うという取り組み。日本政府もこの活動に賛同し、3 月 1 日から 6 月 15 日までの期間を「グリーンウェイブ 2011」として学校、企業に広く参加を呼びかけていた。横浜ゴムの参加は昨年につき 2 年連続となる。

横浜ゴムは国内外の 9 生産拠点（平塚製造所、三重、三島、新城、尾道、茨城の各工場、米国のヨコハマタイヤコーポレーションと SAS ラバー、ヨコハマタイヤベトナム）で植樹活動を行った。従業員や地域住民の方々など合わせて 1,243 人が参加し、合計 13,008 本を植樹した。また、平塚製造所、三重、三島、新城工場では苗木の提供活動も実施。期間中に開催された各地域の植樹祭に合わせて 190 人の従業員が参加し、合計 9,714 本の苗木を寄贈した。このほか国内外の 14 拠点で水やりなど樹木の手入れを行った。

横浜ゴムは創業 100 周年の 2017 年に向けて、およそ 10 年かけて国内外の全生産拠点に合計 500,000 本を植樹し、社を創生するプロジェクト「YOKOHAMA 千年の杜」を 2007 年にスタートした。宮脇昭氏（植物生態学者／横浜国立大学名誉教授）の指導の下、潜在自然植生に則った植樹活動を進めており、2010 年度末までに国内外合わせて約 183,000 本の植樹を完了している。また、従業員が育てた苗木を行政や学校、他企業に提供する活動も盛んに行っており、広く社会に対して地球環境保全の重要性を訴えている。

このリリースに関するお問い合わせ先  
横浜ゴム（株）広報部 担当：木下  
TEL：03-5400-4531 FAX：03-5400-4570